

令和6年度 事業所職員向け 児童発達支援自己評価表

		チェック項目	はい	いいえ	取り組み状況・工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		法令を遵守したスペースが確保されています。集団療育のときは、担任間でスケジュールを調整し、広いスペースで実施できるように配慮しました。個別療育でも、適切な環境で実施することができました。
	②	職員の配置数は適切であるか。	○		法令で必要とされる配置数が確保されています。集団活動の他に個別療育ができる職員数です。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	○		障害の特性に応じ、スケジュールカードやタイムタイマーを用いる等の情報伝達への配慮しています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間になっているか。	○		子どもたちが触れるものは随時消毒し、衛生面に配慮しています。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		職員間の日常的なやりとりで、取り組みや課題、改善点を話し合うとともに、毎月の会議やカンファレンスで再度確認し対策を検討しながら実施しています。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	○		年1回保護者の方にアンケートを依頼し、成果や課題を把握し、業務改善につなげています。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所のホームページ等で公開しているか。	○		年1回事業所向け自己評価表及び保護者向けアンケートを実施し、結果や改善内容等を当事業所のHPで公開しています。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	現在、第三者による外部評価は行っておりません。今後、必要に応じて実施を検討します。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	○		専門家による研修への参加機会を設けるとともに、当事業所においても講師を招き、研修を行っています。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別の支援計画を実施しているか。	○		MEPA-R を活用しアセスメントを実施しています。一人ひとりの発達状況や課題等をより詳細に把握することができ、それを個別の支援計画立案に生かし実施しています。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	○		保護者参加型のアセスメントツール(MEPA-R)の活用や、心理検査等の結果を共有させていただいています。
	⑫	個別の支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		児童発達ガイドラインで示す支援内容を基に、子どもの発達状況や課題を把握した上で、個別の支援計画の支援内容を検討し設定している。その際、支援内容や支援方法、配慮点等を具体的に示すようにしている。

適切な支援の提供	⑬	個別の支援計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画を基に支援を行っています。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		職員間でアイディアを出し合うとともに、子どもたちの発達状況や特性、嗜好等を把握した上で、担任保育士と連携して設定しています。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		繰り返しの活動の中でも変化のあるプログラムを設定し、活動が柔軟になるように配慮しています。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか。	○		個別療育と集団療育を含めた目標設定を行い、子どもたちの課題や発達段階に応じて、一人ひとりに合わせた活動の充実を図れるよう努めています。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	○		一日のスケジュールについては保育者間の連絡ノートや、ホワイトボードを活用し、担当や予定を表示化しています。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援日当日に職員間で振り返りを行うことは難しいことが多いですが、翌日以降に情報共有を行うようにしています。
	⑲	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々の記録を確実に行うとともに、園での様子や家庭での生活状況等を踏まえ、支援を柔軟に再構築し実施している。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、個別の支援計画の見直しの必要性を判断しているか。	○		年2回、半年ごとにモニタリングを行い、個別の支援計画の目標や支援内容を見直し作成している。
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	○		児童発達管理責任者やクラス担任等、子どもや家庭の状況を最も把握したものが参画しています。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか。	○		必要に応じて関係機関と情報交換をし、子どもにとってよりよい環境づくりや支援を行えるようにしています。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか。			
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか。			
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要に応じて、文書や電話、会議等で情報交換を行っています。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要に応じて、文書や電話、会議等で情報交換を行っています。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	○		研修への参加、関係機関への相談や連携を必要に応じて行っています。

	②⑧	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。	○		提携している保育園の子どもたちと日々交流して生活しています。
	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		地域のこども部会や、茨通連、支援学校の情報交換会に参加しています。
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解をもっているか。	○		送迎時の口頭での伝達とともに連絡帳や日々の記録を通して、子どもの状況や成長、課題などを伝え、共通理解を図っています。
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか。	○		キラキラ療育教室や保護者との面談の中で、情報提供や育児などの相談対応をする場を設けています。
保護者への説明責任等	③⑫	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に説明を行っています。
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「個別の支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別の支援計画の同意を得ているか。	○		個別の面談により、児童発達支援ガイドラインを基にしていることを伝えた上で、個別の支援計画の内容や支援の方法を説明し同意を得ています。
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		必要に応じて面談の場を設けて、話を傾聴し、助言や情報提供等の対応を行っています。
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。	○		キラキラ療育・教室を定期的に開催し、テーマを設定した茶話会や、講師を招いた講演会の中で、様々な世代の保護者同士の交流や情報共有など連携する場を設定しています。
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情解決の相談窓口を設置し、対応するとともに、送迎時や連絡帳による相談などには、迅速に対応できるようにしています。
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		ICT や文書でお知らせするほか、日頃の様子も HP へ掲載し発信しています。
	③⑱	個人情報の取り扱いに十分注意しているか。	○		個人情報の取り扱いについては全職員で共通理解を図り、漏洩等のないよう細心の注意を払っています。
	③⑲	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		子どもたち一人ひとりの特性や発達に合わせた方法で対応しています。保護者の方に対しては、文書を配布したり、お伝えするタイミングや方法等に配慮するようにしています。
	④①	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	防犯や子どもたちの特性上、開かれた交流の場は作っていないが、地域の学校や保育園の子どもたちや学生、連携機関の方などが行事や保育活動に参加することがあります。
非常時等の	④②	緊急対応マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルは全職員が把握するとともに保護者が見ることができるようにしています。また、あらゆる災害を想定した訓練を年間スケジュールの中で計画実施しています。

非常時等の対応	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難等必要な訓練を行っているか。	○		非常災害の発生に備え毎月定期的に避難等必要な訓練を実施しています。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		毎年、予防接種や既往歴を書類に記入し提出を依頼しています。また、契約時に服薬やてんかん発作等を確認し、全員に母子手帳のコピーと健康診断書の提出を義務付けています。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食物アレルギーのあるお子さんが利用するときは、アレルギー検査の結果と医師の指示書を提出していただき、全職員で共通理解を図れるように徹底しています。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	○		ヒヤリハット、インシデント、事故報告書を作成し共有しています。今後も努めて作成していきます。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		外部の研修を受ける機会を設けるとともに、職員間で協議し適切ななかかわり方が共有できるように話合っています。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		現在は、身体拘束を行っていないが、生命、または身体の保護のため、車椅子のベルトやテーブルの装着などが必要なときは、文書を作成し、保護者への説明を行います。

特定非営利活動法人 子育て支援グループ ひまわりのお家